

コミュニティスクールと地域学校協働活動について

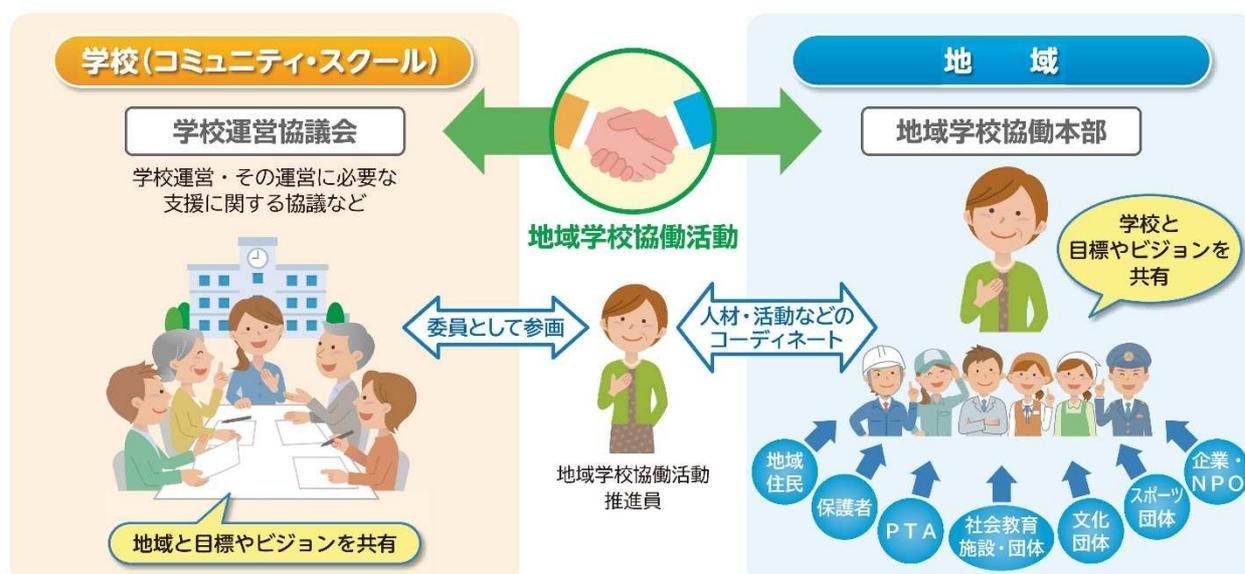
コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進

(背景・課題)

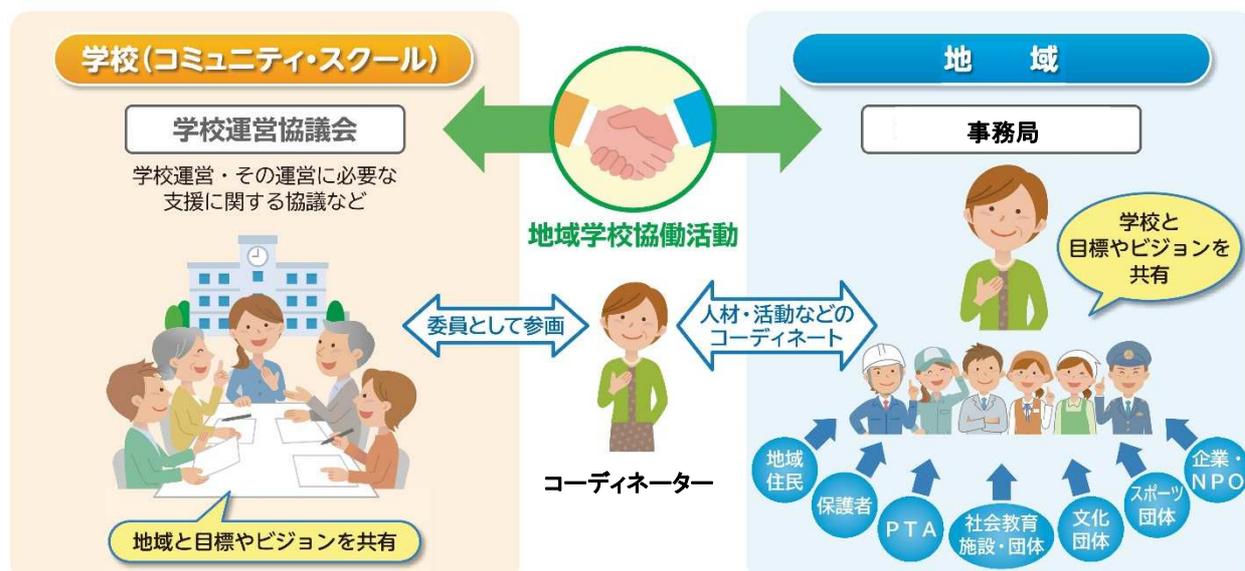
学校における働き方改革の推進や不登校、いじめ、感染症対策、防災など学校や地域が抱える社会的課題の解決を目指すとともに、「社会に開かれた教育課程」実現に向けた基盤として、学校と地域が連携・協働し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていくためには、「コミュニティスクール（学校運営協議会制度）」と「地域学校協働活動」の一体的な推進が必要である。

(取組)

<国が示す取組>



<府中町の取組>



(事業実施により期待される効果)

- 学校における働き方改革の推進や学校・地域が抱える課題の解消、「社会に開かれた教育課程」の実現
- 子供たちが地域に目を向け、地域に愛着を感じるようになり、地域も子供に関わることで地域住民自身の学びにつながる。

コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて

目指す姿

「学びの変革」(社会に開かれた教育課程)を実現し、子供も大人も共に育つ学校・地域づくり

現 状

地域と連携した教育活動はすでに実践している
学校と地域人材をつなぐコーディネート役がいれば、探究学習やキャリア教育等がさらに充実する

方 向 性

コミュニティスクール等の既存の仕組みの中で、学校と地域をつなぐ、コーディネートできる人材を養成する。
教職員及び地域住民に対し、コミュニティスクールと地域学校協働活動の推進を目的した研修を行う。
学校と地域等との『ゆるやかなネットワーク』が維持できるよう支援する。

コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進事例

(府中小学校)

【地域学校協働本部】

府小っ子応援団

【取組】

学校の目指す方向を理解した上で、図書室や図書コーナーを整備。定期的にお勧め図書の内容を手作りポップで紹介したり、表紙が見えるように陳列を工夫したり、子供の姿を思い浮かべ、皆でアイデアを出しながら主体的に活動している。

【成果・効果】

図書ボランティアとともに、2つの図書室（創造の森・未知との遭遇）と7つの図書コーナー（各学年の学習内容等を踏まえて配架）を整備した結果、児童の読書状況に関する数値や自尊感情が向上した。

- ・ 1か月に3冊以上読書をする児童の割合～R4：99.9%（H31：59.6%）

(活動の様子)

○図書ボランティア活動



(府中南小学校)

【地域学校協働本部】

南っこサポーター

【取組】

学力向上を目的として、家庭科の実習補助、授業中の学習支援、放課後に児童生徒が学校から出された宿題などを支援する学習室の運営や教職員が授業で使用する学習プリントの印刷をしている。

【成果・効果】

確かな学力をつけるためのサポートにより、学力定着をめざして、児童が授業に集中できるよう支援ができています。お便りや授業で使うプリントを印刷することで、学校の業務改善ができた。

- ・印刷サポーターは年度初めに募集をかけ、曜日ごとに担当を決める。

現在は約6名で、各学年ともおおむね1週間に1～2回活動している。

(活動の様子)

○印刷サポーターとの連携

印刷カード(部数を記入し、○で囲んでください)

紙の使用棚	_____年、_____学校関係
部数	_____部 × _____クラス
	長子のみ 全学年
片面か両面	_____片面、_____両面
変倍	100% 拡大 縮小
使用用紙	B5 B4 A4 A3 厚紙 色用紙
印刷期日	当日(/)、_____日まで
その他	依頼者名： _____



(コミュニティスクール)

コミュニティスクールとは、「学校運営協議会」を導入した学校のこと、地域の皆さんの声を学校運営に反映させながら、地域と学校が同じ目標をもって、力を合わせて地域の子供たちを育むための仕組みです。

「学校運営協議会」は、学校の運営と運営に必要な支援に関して協議する機関。

府中町教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者、地域住民の学校の運営への参画並びに保護者、地域住民等による学校の運営への支援及び協力を促進することにより、学校と保護者、地域住民等との間の信頼関係を深め、一体となって学校の運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組むための協議会です。

●各学校の委員数

学校名	府中小学校	南小学校	中央小学校	東小学校	北小学校	府中中学校	緑ヶ丘中学校
委員数	11名	13名	13名	9名	11名	15名	14名

●協議会の委員

- ① 対象学校に在籍する児童又は生徒の保護者・・・PTA会長など
- ② 対象学校の校区内の地域住民・・・町内会長、民生委員、保育園長など
- ③ 対象学校の運営に資する活動を行う者・・・地域コーディネーター、コミュニティスクール事務局員など
- ④ 対象学校の校長
- ⑤ 対象学校の教職員・・・教頭、主幹教諭
- ⑥ 学識経験者・・・大学教授、高等学校長など、
- ⑦ 関係行政機関の職員・・・公民館長
- ⑧ その他教育委員会が適当と認める者

●協議会の任期 2年

●協議会の回数 年3回（R3は2回開催の学校もあり）

●活動内容

- ・学校経営プラン、学校の経営方針についての承認、
- ・学校運営の進捗状況、学校運営の進捗状況に対する意見（学校評価）
- ・授業見学に係る意見交換

●地域学校協働活動との連携

学校運営における目的達成や課題解決のために、地域の資源である活動団体と情報共有し連携を図ります。

（地域学校協働活動）

地域学校協働活動とは地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

地域学校協働活動は、社会教育法第5条第2項により、学校と協働して行う以下の活動と規定されています。

- 学校の授業終了後又は休業日において学校、社会教育施設等で行う学習、その他の活動
- ボランティア活動、社会奉仕体験活動、自然体験活動、その他の体験活動
- 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して学校、社会教育施設等で行う教育活動、その他の活動

●活動内容

区 分	令和4年度事業
放課後子供教室	開催場所：各小学校 募集：定員を20名 活動期間：令和4年5月～令和5年3月（毎週水曜日） 活動内容：工作、グランドゴルフなど コーディネーター：6名 ボランティア：36名 開催場所：両公民館 活動期間：令和4年5月～令和5年2月（土曜日） 活動内容：子ども囲碁教室、子ども将棋教室、子ども料理などを実施
地域未来塾	開催場所：各小中学校 募 集：両中学校生徒や、4月に実施した児童募集の際に抽選に外れた小学生児童を対象 活動期間：令和4年8月～9月（各校2回） 活動内容：夏季休業中に幅広い地域住民等の参画により、学習支援及び様々な体験活動を通して、児童生徒が学習及び活動への意欲を高め、地域住民との交流を行う 講 師 等：広島県金融広報委員会より派遣する講師 大学生ボランティアチーム（16名） 安芸府中高等学校生徒のボランティアスタッフ（26名）
地域未来塾	府中中央小学校と緑ヶ丘中学校の両校コミュニティスクールとの共同事業を開催（新規） 活動期間：令和4年7月～8月（6回） 活動内容：小学生が持参したワーク系の宿題（夏休みチャレンジや自主勉強）を中学生と大人のボランティアが児童を見守る活動を行う。 そ の 他：各回小学生の参加は15名程度 中学生のボランティアは3名から10名程度
家庭教育支援活動	府中町家庭教育支援チーム ファシリテーター：164人 ・カフェ「くすのき」：保護者のつながりの場づくり ・親の会：保護者のつながりを更に深める場づくり ・学校でのしゃべり場：学校で実施し、保護者のつながりの場づくり
学校に対する多様な協力活動	登下校見守り、校内清掃、読み聞かせボランティア、学習支援サポートなど